

都島だより

発行責任者
都島クラブ代表(A-47)
西口 勝臣

一般社団法人浪速工業会
都島クラブ会報 **2025年(令和7年)2月 第68号**

事務局 馬江 治喜
〒234-0056
横浜市中区南野庭町696-6
TEL045-841-8885
E-mail har1942umae@ris.ocn.ne.jp

NEWS 68号

題字デザイン A28(故)岡田宏三氏

一般社団法人浪速工業会・都島クラブ・現在会員数 ◆ 合計 353 名

◆M・機械 66 名、ME・機械電気 22 名◆A・建築 64 名◆E・電気・電子工学 118 名◆C・土木・都市工学 26 名◆CI・工業化学・理数 41 名◆L・普通 9 名◆工専 7 名

一般社団法人浪速工業会・都島クラブ年次報告会

- 日時 2025年5月31日(土) 13時から15時
- 場所 四川名菜 川府(センフウ)【旧店名】敦煌
東京都中央区銀座2-6-9
Ginza269ビル 7F
TEL 050-5570-6005
- 親睦会会費 8,000円(女性会員は5,000円)
新規卒業の会員は無料!
- 申込 同封の返信ハガキ又はEメールにて
4月30日までに事務局までお申込み下さい。

令和6年度
年次報告会のご案内

**5月31日(土)
13時スタート**



地下鉄有楽町線 銀座一丁目駅 8番出口 徒歩2分
地下鉄 銀座駅 A13番出口 徒歩3分
銀座一丁目駅から100m

「Ginza269」のロゴが目印



都島クラブ事務局より

一般社団法人浪速工業会・都島クラブの
会員の皆様には、ますますご健勝の事とお
慶び申し上げます。

さて、旧来「都島クラブ総会」という名称
で年一回開催しておりました会を、昨年度
の規約改正に伴い、本年度より「都島クラ
ブ年次報告会」という会員の懇親を主目的
とした形式で開催することとなりました。

つきましては、今年度は上記内容にて開
催させていただくことと致しましたので皆
様どうか奮ってご参加ください。

お申し込み・問合せ 事務局 馬江まで
Eメール . . . har1942umae@ris.ocn.ne.jp

陶芸会に参加して

M08 西川 滋紀

9月7日(土)国立市のくにとち自游工
房にて開催された陶芸会に参加させていた
だきました。硬式野球部の1学年先輩であ
る中谷卓司さんのお誘いでとても楽しい時
間を過ごさせていただきました。ありが
た。ありがとうございました。

記憶のある限り、陶芸は初体験。陶芸家



のA46年卒・柚木寿雄さんの工房で奥さまの指導を受け、まさに時間を忘れ、無心で土に向き合うという貴重な体験をさせていただきました。

初めてにしては上出来ではないか、と大甘の自己採点ですが、焼酎お湯割り用のグラスは単身生活の晩酌にぴったりだと、焼き上がりを楽しみに心待ちにしているところです。

陶芸会のあとの懇親会。多彩で多様な職業に就かれているみなさんから多くの刺激をいただきました。私も諸先輩に負けないよう、あと5年の会社員生活を過ごします。



第9回MSSに参加して

M42 前田 範行

日時 10月24日18時
場所 六甲クラブ
講師 E36 竹村 繁幸氏
題目 W.N.W.Nのおもちゃ病院



工業化学科32松井氏の協力(ホスト役)により、今回初めて現地、Webで同時開催されました。

講演はおもちゃ病院開院の背景やモットーからおもちゃの修理内容、使用工具や昨年の診療(修理)科目と実績、開院から今までのボランティア活動の変遷についてDVDや写真、各種アータをもとに視聴しました。診療(修理)過程のドクターの想いは様々でも、診療を終えて退院する時の親子の喜びと相通じる幸福の関係が活動を長く続けられる要因の一つでしょうか。

子供たちの物を大切に育てる心をおもちゃ病院のモットーに共感しました。また、講演時での話ではありませんが、若い親御さんたちと接する機会があるのもおもちや病院の魅力の一つと聞きました。羨ましい。



竹村氏

麗しの島台湾 第8回

A27 田中 瑛也



忠烈祠 国民党政権の威厳を継承し

今尚顕示した建物の一つに忠烈祠【写真】がある。都心から故宮博物院に赴く中程にある。下車すると赤門の大門牌楼、左右に人形のように微動せぬ衛兵が、直立不動で立っている。門をくぐり石で舗装された道を進む。極彩色を施した大殿、左に文烈士祠、右に武烈士祠と山門とを中国風の建築を回廊でつなぎ、主要な社殿を形成する。衛兵は正門と本殿の前に各二名ずつ立ち、この忠烈祠に祀られる英霊を護衛する。日本の靖国神社に類似する社殿と思えば、当を得ている。一時間毎に交代する。その交代の儀式を見るために観光客は、カメラを持って正門から本堂へと敷かれた石畳の通路の両脇で待ちかまえる。定時になり、門をくぐり交代兵を含めて六人の兵隊が、機械仕掛けの人形のように整然と行進、本堂に二人の衛兵を交代させ、往路と同じ復路を、体勢を崩さず行進、正門に立つ衛兵も交代させた後、彼等の控え室へと引きあげる。



計報

L29	野沢 光久	2020年7月26日
M28	尾上 雄二	2023年6月7日
E37	上田 俊司	2023年9月5日
E50	植田 義郎	2024年7月
A45	堀江 吉雄	2024年11月3日
L29	長谷 景治	2024年11月13日
A37	森 芳信	2024年12月7日

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

次号のMニュースは令和7年8月の発行予定です

皆様からの原稿をお待ちしています。事務局までお送りください。



文武両道を説く儒教精神が生かされているのか、文烈士祠と武烈士祠と分別され祀られているこの廟には、辛亥革命、抗日戦争等で戦死した将兵の霊333柱が安らかに眠る。

※次号へ続く

